**【実習による共同利用機器・受託解析の利用申込書】**

**科学研究基盤センター・ゲノム研究分野**

注意)本申込は、実習(研究目的を除く)でゲノム研究分野の共同利用機器・受託解析を利用する場合のものです。

**申込日**年　　　月　　日

**申込責任者**(教員に限ります)

**登録グループ番号**

**氏名**

**連絡先** メールアドレス 内線あるいは携帯電話

**学部・実習名・対象学年・人数: 　　　学部　　　　　　　　　　　 年生　　人**

注意) 実習名は、シラバスに記載された正式な名称を記載して下さい。人数はおおよそでも結構です。

**利用予定の共同利用機器・受託解析と日時・サンプル数・要望など**

注意)ゲノム研究分野のホームページやセンターの年報を参照のうえ、利用予定の共同利用機器・受託解析を記載して下さい。複数利用の場合はそれぞれ別々に記載して下さい。

記入例) 受託DNA解析(反応済みシーケンス) 　2017年 6月　23日 20サンプル

備考: 当日は14時ごろサンプルを提出する予定です。データは翌日午前中に上記登録グループにお願いしたいと考えております。教育目的ということで通常より利用料より値引きしてもらえると助かります。

**研修セミナー室・実習室の利用予定**

注意)もし共同利用機器・受託解析の利用と共に同実習でゲノム研究分野2Fの研修セミナー室や実習室(いずれも最大30名)の利用を希望される場合は、日時、人数の予定を記載下さい。

記入例) 研修セミナー室 2017年 6月　23日 14:00-15:00 約20名

**<< 本申込書提出後のながれについて(申込者は必ず以下を読んで確認しておいて下さい) >>**

本申込書の提出後、ゲノム分野ではお引き受け可能かを確認のうえ、申込責任者の方へ利用が可能かどうかの連絡を致します。必要に応じて更に詳しい情報をお伺いすることもあります。

受託解析(受託DNA解析など)・研修セミナー室・実習室の利用については、ゲノム分野で予約手続きを行いますので、申込者が予約を行う必要はございません。但し予定が変更になった場合は、すみやかにゲノム分野にお知らせ下さい。**共同利用機器については、ゲノム分野から利用が可能であるとの連絡を受けた後、申込責任者ご自身で利用予約を入れて下さい(必須)。**

利用予約はゲノムホームページにてできるようになっております。申込書が届いてからゲノム分野としてはできるだけ早く、利用可能かどうかの返答を致しますが、仮に申込者が利用予約を入れる段階で、別のユーザーが既に利用予約を入れてしまっている場合は、先に予約を入れられている方が優先となります。その際はご了承願います。